

草津学区まちづくり計画

令和2年度～令和6年度



令和2年4月

草津学区ひと・まちいきいき協議会

目 次

はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
1 計画の期間・・・・・・・・・・・・・・・・	2
2 草津学区の概要・・・・・・・・	2
3 地域の課題・・・・・・・・	5
4 協議会の活動実績・・・・・・・・	7
5 地域の将来像・・・・・・・・	8
6 まちづくりの基本方針・・・・・・・・	8
7 事業計画（主要事業）・・・・・・・・	11
資 料・・・・・・・・	13
(1) 草津学区の人口構成	
(2) 住民の意識調査結果	
(3) 住民の安心安全	
(4) 住民の暮らしのイメージ	

はじめに

草津市では、少子高齢社会や地方分権の流れ等、将来を見据えた持続可能な地域経営を目指して、『出会いが織りなすふるさと“元気”と“うるおい”のあるまち草津』を将来のまちの姿としています。

このことから、草津学区では『草津学区ひと・まちいきいき協議会』を平成22年11月に設立し、草津市協働のまちづくり条例に基づき、平成26年8月に草津市からまちづくり協議会として認定を受けました。

まちづくり協議会は町内会などの地域コミュニティが中心となって、地域で活動されている各種団体等と力を合わせて「自分たちの地域は自分たちでつくる」との考えのもと、学区単位のまちづくりを行っています。

本協議会は、草津学区がより魅力的で暮らしやすいまちになることを目指した住民主体のまちづくりの推進母体です。しかしながら、「協議会が地域に対して何をすればいいのか、何ができたのか」など試行錯誤をしながら今日を迎えました。

一方では、近年の大規模自然災害発生時に地域住民同士が助け合える住民自治の大切さを痛感しているところです。このため、草津学区地域防災計画の策定を行いました。

第一期計画（平成24年度～平成27年度）第二期計画（平成28年度～平成31年度）の「草津学区まちづくり計画」に基づきまとめたものです。

令和2年度からの5年間のまちづくりについては、地域の特色を活かした新たな課題に取り組んでいきます。



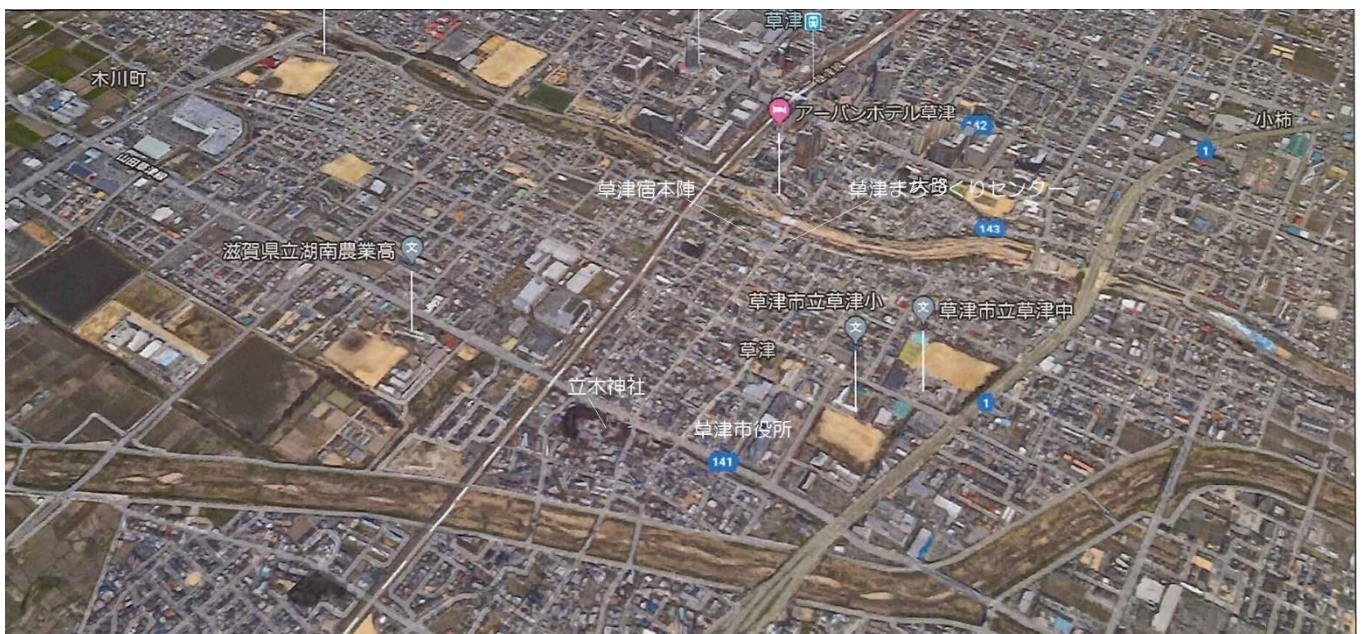
1 計画の期間

本計画の期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日までの5年間とします。

2 草津学区の概要

(1) 草津学区の特性

- 草津学区は草津市のほぼ中央に位置しており、市役所や県の出張機関などの行政機関が集積しています。
- 新・旧草津川に隣接しており、水辺や緑のある景観を有しています。旧草津川跡地は単なる公園としての整備にとどまらず、にぎわいとうるおいが創出される空間として、貴重な資源や特性を活用した「魅力的なまち」として整備されました。
- 江戸時代には東海道と中山道が接する草津宿として栄え、草津宿本陣をはじめとして、歴史的な建物が残っています。また、草津まちづくり株式会社を事業主体とする「商店街テナントミックス事業」が展開されており、商店街の活性化が進められています。
- 国道1号線とJR琵琶湖線とで東西に三分割された住宅構成となっています。国道1号線とJR琵琶湖線に挟まれた、旧街道沿いの住宅は東海道草津宿としての歴史を感じさせる建物が残っています。一方で東西は多くの新興住宅地が広がっています。



草津学区の景観



国指定史跡 草津宿本陣



立木神社



草津まちづくりセンター



草津川跡地 de 愛ひろば



国道1号線隧道

(2) 草津学区の基礎データ

【人口】	草津市	134,224人	草津学区	11,164人
【世帯数】	草津市	58,691世帯	草津学区	5,050世帯
【平均年齢】	草津市	43歳	草津学区	44歳

資料：住民基本台帳（平成31年3月31日現在）

草津市は、全国的に人口減少が問題となるなか、今も人口が増加している活気にあふれる街であるといわれています。

なかでも、草津学区の人口は若干の増加傾向にあります。

国立社会保障・人口問題研究所による推計では、2035年まで草津市の人口は増加するとしています。

しかしながら、草津市では、現在の人口増加基調はこの推計よりも早期に収束し、人口減少に転じていくと分析しています。

一方、草津学区における15歳未満の人口比率は13.2%（現在）から13.5%（2045年）と若干増加傾向にありますが、65歳以上では23.4%（現在）から29.1%（2045年）と増加する傾向にあります。

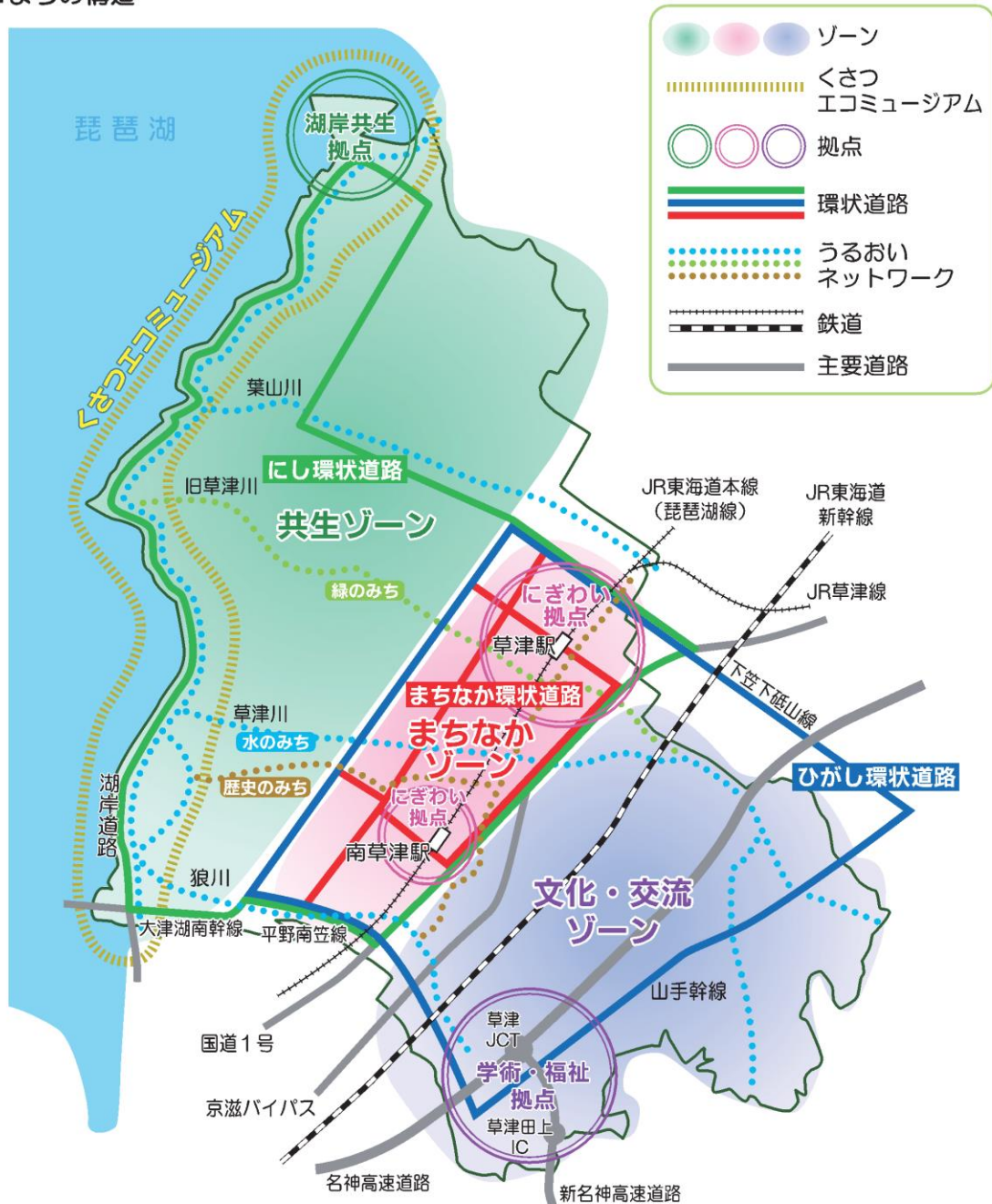
このような現状認識のもと、現時点の人口増加と将来の年齢構成の変化についての両方をカバーしなければならない難しさがあります。

(3) 草津市における草津学区の位置付け

第5次草津市総合計画における草津学区の位置付け

第5次草津市総合計画では、草津学区は『まちなかゾーン』『にぎわい拠点』に位置付けられています

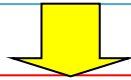
■まちの構造



3 地域の課題

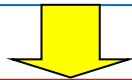
第一期計画および第二期計画に基づく活動実績を踏まえて、現在の草津学区には、次のような課題があると考えられます。

人口は横ばい状態ですが、高齢者世帯の増加等に伴い、普段の生活の中で、防犯上の不安を感じる地域住民も出てきています。また、近年の地震・風水災害の発生など、防災への意識、災害への不安感が増しています。



子どもから高齢者までの全ての地域住民が安心・安全に暮せるまちづくりを進めていく必要があります。

平成28年度に草津市が作成した人口ビジョンでは、草津市の人口は2025年度までは増加すると言われていたのですが、その後は減少に転じる見込みとなっています。また、高齢化も進んでいくと考えられます。一方で、高齢者世帯・核家族化によって、高齢者・子ども・若者が地域の中でつながりを持つことが以前よりも少なくなっているように思われます。



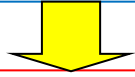
高齢者にやさしく、子どもたちも元気で、若者にとっても住みやすいまちづくりをするには、若年層から高齢者まで様々な世代の人材が積極的にまちづくりにかかわっていただくことが重要であり、誰もが参加しやすい体制作りが必要です。

草津学区には、草津宿本陣や追分道標をはじめとする宿場町の歴史的な景観は残り、旧草津川の堤防などの豊かな緑があります。一方では、旧草津川跡地の整備事業や国道一号線のトンネル撤去工事、また大規模マンションの建築など、歴史的な町並みは大きく変わり、自然環境に触れ合うことができる場所が少なくなりつつあります。



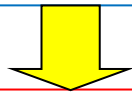
豊かな自然環境や歴史的な景観を後世に継承していくためにも、保全活動や自然環境に親しめる取り組みを推進する必要があります。

中心市街地の活性化、旧草津川跡地や旧東海道の歴史的景観の整備事業など草津学区にかかわる大規模な事業が進んでいます。
以前のようにぎわいを取り戻し、宿場町草津に見合った歴史的景観を維持しながら活力あるまちづくりが求められています。



地域の様々な世代、とりわけ高齢者の豊富な経験を活かした活動とともに、世代を超えたつながりを通じて、活力あるまちづくりを進めていく必要があります。

草津市は「ゆたかな草津 人権と平和を守る都市」を宣言し、「草津市人権擁護に関する条例」を制定するとともに、「人権擁護に関する基本方針」や「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」に基づいて、同和問題の解決を目指す同和教育を人権教育の主要な柱にとらえ、人権教育の推進に努めています。しかしながら、未だに不条理な差別が残っており、悩んでいる人たちが大勢います。



地域においても人権問題、とりわけ同和問題の解決のために、一人ひとりが、お互いを認め合い、尊重し合い、大切にされる世の中の実現をめざし、それぞれの立場で、その主体者としての積極的な取り組みを進める必要があります。

4 協議会の活動実績

◆設立日 平成 22 年 11 月 3 日

◆認定日 平成 26 年 8 月 11 日

◆交付金の実績（過去 4 年）

（単位：円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度
地域一括交付金	4,119,240	4,209,240	4,312,200	4,401,880
運営交付金	7,716,600	2,510,200	2,576,560	2,585,000
がんばる地域応援交付金	300,000	700,000	1,000,000	970,000
健康のまち草津モデル事業		1,000,000		
地区防災計画策定事業			1,994,358	

◆主な活動実績（過去 4 年）

年度	担当	活動内容
平成 28 年度	安心安全委員会 地域活力委員会 教育環境委員会	・ 防災計画・事業関係 ・ 花いっぱい事業 ・ 交通安全パトロール ・ ふれあい事業（夏まつり等） ・ 高齢者向け「脳トレ教室」開催 ・ のれん・看板事業 ・ ひと・まちいきいき通信の発行 ・ 地域協働合校の企画運営 ・ 人権と平和を考える事業
平成 29 年度	安心安全委員会 地域活力委員会 教育環境委員会 広報委員会	・ 防災訓練事業 ・ 花いっぱい事業 ・ 交通安全パトロール ・ ふれあい事業（夏まつり等） ・ 高齢者向け「脳トレ教室」開催 ・ 地域協働合校の企画運営 ・ 人権と平和を考える事業 ・ ホームページの作成・運用 ・ ひと・まちいきいき通信の発行
平成 30 年度	地域安心安全委員会 教育環境委員会 広報委員会	・ 防災計画・防災訓練事業 ・ 花いっぱい事業 ・ 交通安全パトロール ・ ふれあい事業（ふれあいまつり等） ・ 地域協働合校の企画運営 ・ 人権を尊重するまちづくり事業 ・ ひと・まちいきいき通信の発行
平成 31 年度	地域安心安全委員会 教育環境委員会 防災委員会 広報委員会	・ 防災計画・防災訓練事業 ・ 防災会議（協議・検討・組織） ・ 花いっぱい事業 ・ 交通安全パトロール ・ ふれあい事業（ふれあいまつり等） ・ 地域協働合校の企画運営 ・ 人権を尊重するまちづくり事業 ・ ひと・まちいきいき通信の発行

5 地域の将来像

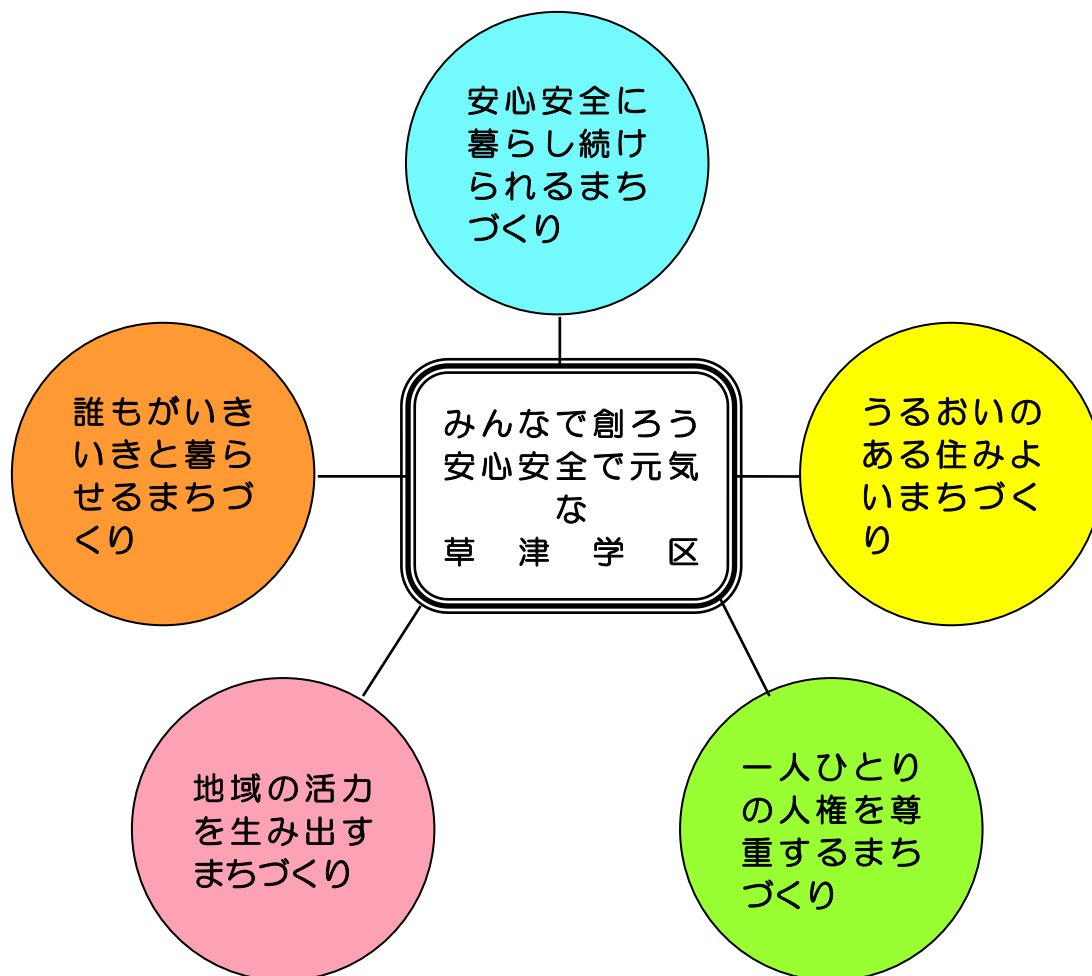
第一期計画および第二期計画に基づく活動実績を踏まえて、第三期計画の目標とする将来像を第一期・第二期計画を踏襲することとしました。

みんなで創ろう安心安全で元気な草津学区

～みんなが支え合い助け合う草津学区～

～絆を大切にする草津学区～

6 まちづくりの基本方針



① 安心安全に暮らし続けられるまちづくり

施策番号1-1 防災・防犯意識の高いまちづくりの推進

- ・ 防災マップの活用と災害危険箇所の点検
- ・ 自主防災組織化と訓練の実施
- ・ 特殊詐欺や空き巣対策などの地域防犯活動
- ・ 子ども110番、防犯灯、防犯カメラなどの設置
- ・ 子どもや高齢者、障がい者、外国人などを考慮した防災防犯活動
- ・ 学区防災計画の推進

施策番号1-2 支え合い・声かけあうまちづくり

- ・ 地域ボランティアによる高齢者などが暮らしやすい支援活動
- ・ 助け合い、支え合う地域活動
- ・ あいさつ・声かけ運動

施策番号1-3 安心して子どもが育てられるまちづくりの推進

- ・ 子育て世代と子育て経験者との交流活動
- ・ 地域で子育てを支援する環境づくり

② 誰もがいきいきと暮らせるまちづくり

施策番号2-1 ふるさとを育むまちづくりの推進

- ・ 故郷への愛着を育む仕組みの形成
- ・ 各地域の伝統、文化のまちづくりの発信を促すまちづくり

③ うるおいのある住みよいまちづくり

施策番号3-1 自然と触れ合うまちづくりの推進

- ・ 草津川の自然環境を活用したまちづくりの推進

施策番号3-2 自然環境を保全する取り組みの推進

- ・ 環境保護活動の推進
- ・ 花いっぱい運動の推進

④ 地域の活力を生み出すまちづくり

施策番号4-1 地域イベントによるふれあい交流

- 地域イベントの内容の充実
- 地域イベントへの参加促進

施策番号4-2 高齢者の元気を引き出すまちづくりの推進

- 高齢者と若者との交流の場設置の推進

施策番号4-3 草津学区まちづくり情報の発信

- ホームページの充実

⑤ 一人ひとりの人権を尊重するまちづくり

施策番号5-1 差別のない明るいまちづくりの推進

- 人権を考える研修の推進
- 人権情報の発信

7 事業計画（主要事業）

（１）安心安全に暮らし続けられるまちづくり

施策番号	事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
1-1	防災・防犯意識の高いまちづくりの推進	実施中 				評価
1-2	支え合い・声かけあうまちづくり	実施中 				
1-3	安心して子どもが育てられるまちづくりの推進	実施中 				評価

（２）誰もがいきいきと暮せるまちづくり

施策番号	事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
2-1	ふるさとを育むまちづくりの推進	実施中 				評価

（３）うるおいのある住みよいまちづくり

施策番号	事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
3-1	自然と触れ合うまちづくりの推進	実施中 				評価
3-2	自然環境を保全する取り組みの推進	実施中 				

(4) 地域の活力を生み出すまちづくり

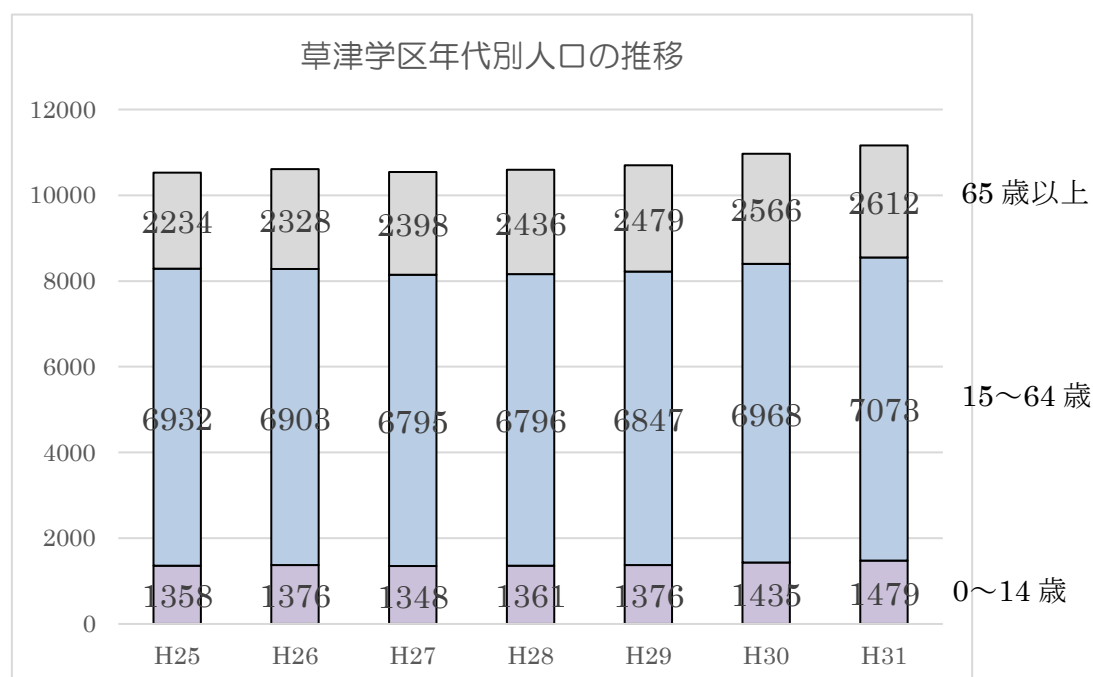
施策番号	事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
4-1	地域イベントによるふれあい交流	実施中 ●————→				
4-2	高齢者の元気を引き出すまちづくりの推進	実施中 ●————→				評価
4-3	草津学区まちづくり情報の発信	検討 ●————→				評価

(5) 人権を尊重するまちづくり

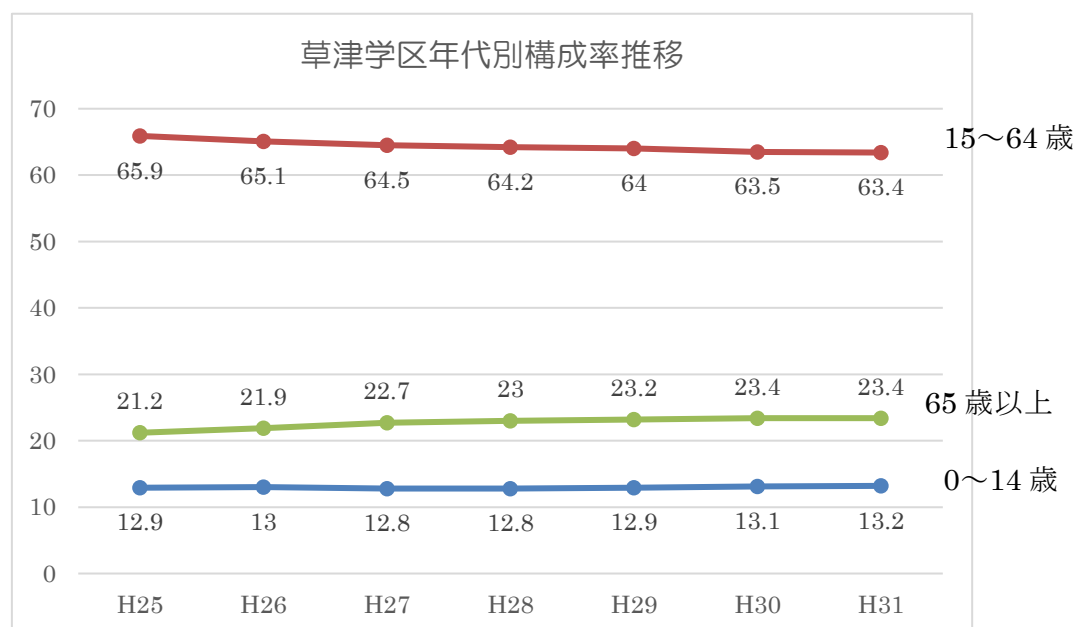
施策番号	事業内容	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
5-1	差別のない明るいまちづくりの推進	実施中 ●————→				

資 料

(1) 草津学区の人口構成

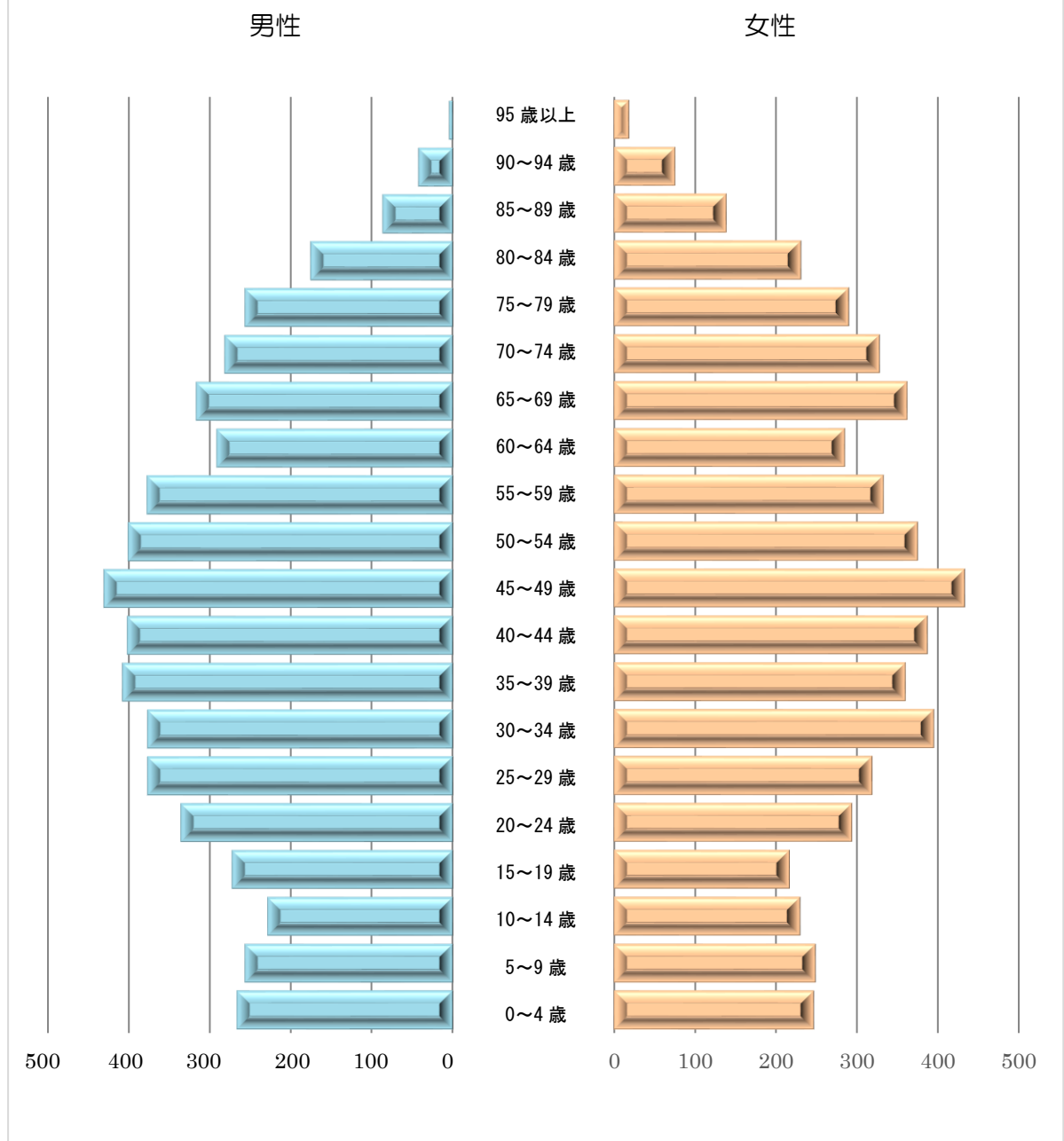


資料：住民基本台帳（毎年3月31日現在）



資料：住民基本台帳（毎年3月31日現在）

草津学区の人口ピラミッド



資料：住民基本台帳（平成31年3月31日現在）

(2) 住民の意識調査結果

平成30年度「草津市のまちづくりについての市民意識調査」より

○「地域力」のあるまちづくり

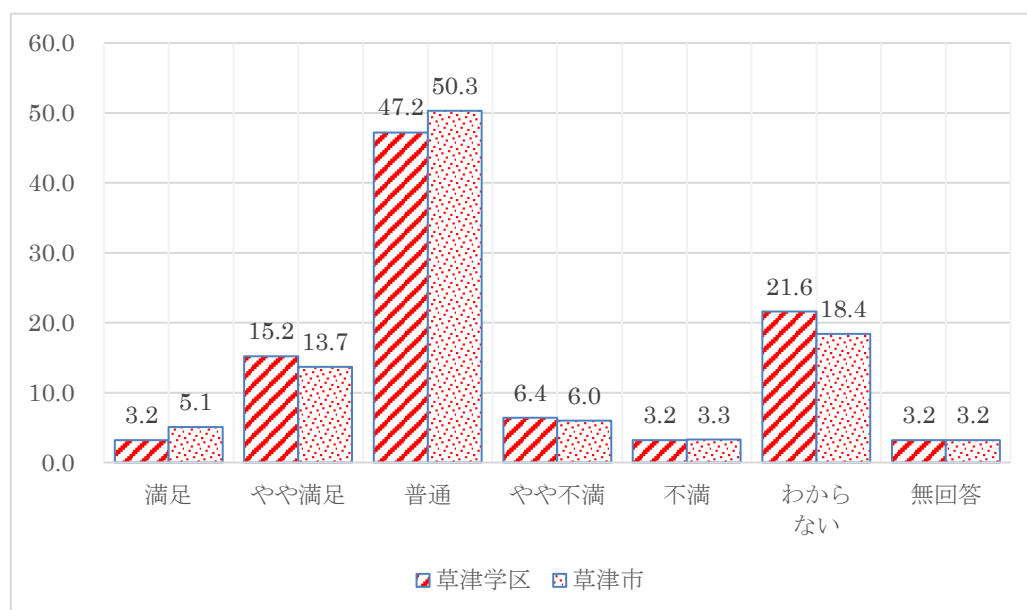
【第5次草津市総合計画第3期基本計画】

地域福祉の担い手の育成とそのネットワークの充実を図り、「地域力」を生かした福祉のまちづくりを進めます。

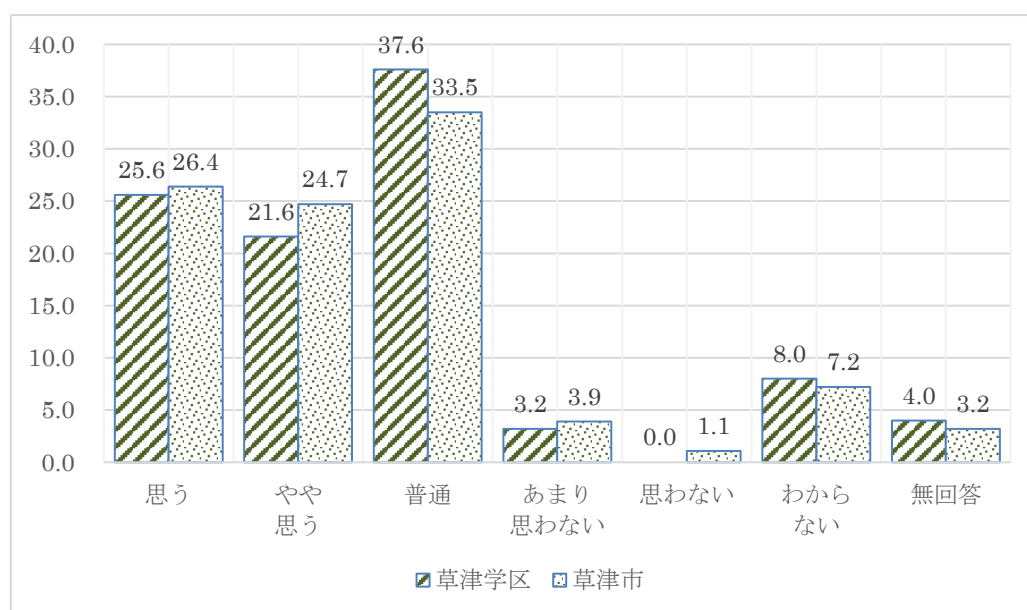
①地域福祉の担い手の育成と活躍の促進

②地域福祉を支えるネットワークづくり

満足度：現在の状態で満足していますか？



重要度：重点的に取り組むべきであると思いますか？



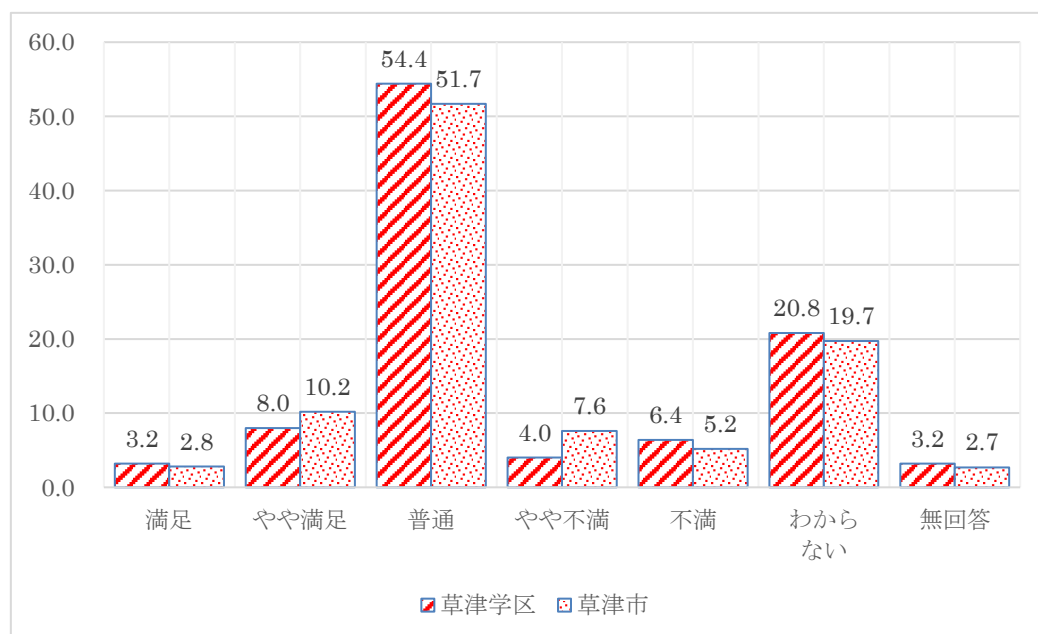
○基礎的コミュニティの活性化

【第5次草津市総合計画第3期基本計画】

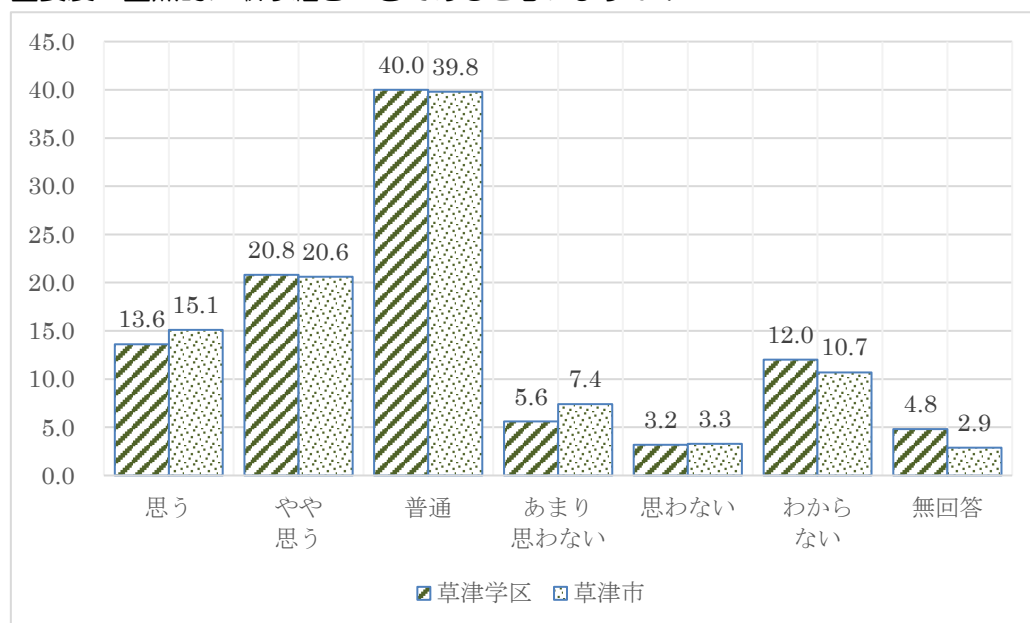
顔の見える身近な基礎的コミュニティを中心に、地域と一体となった取り組みができる住民主体の地域社会の形成を図ります。

良好な地域社会の形成、住民福祉の増進、住民主体のまちづくりのさらなる推進を図るため、町内会や自治会など住民自治組織の活動を支援します。

満足度：現在の状態で満足していますか？



重要度：重点的に取り組むべきであると思いますか？



○まちづくり情報の提供の充実

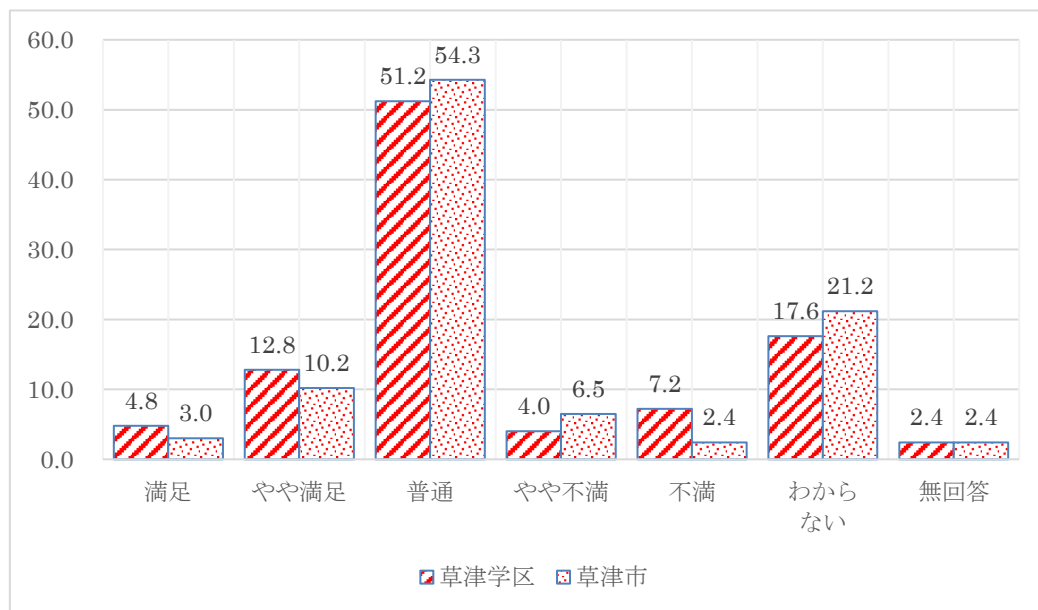
【第5次草津市総合計画第3期基本計画】

まちづくり協議会やテーマコミュニティの活動が生きるよう、市民間の情報の共有と交流の促進、また、行政情報等の提供に努めます。

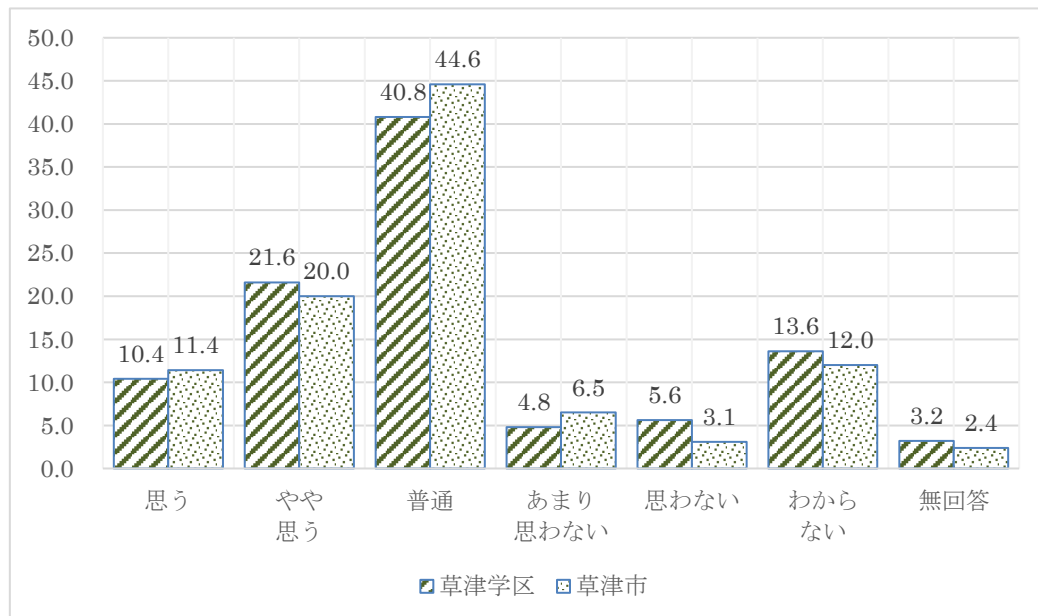
①地域まちづくり情報の提供

②行政情報の提供

満足度：現在の状態で満足していますか？



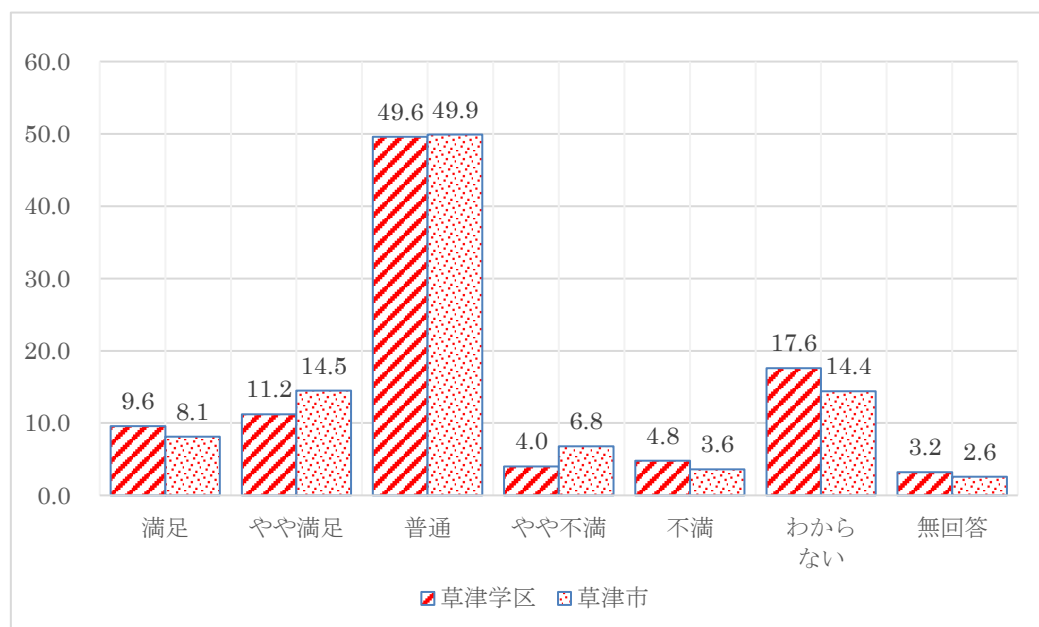
重要度：重点的に取り組むべきであると思いますか？



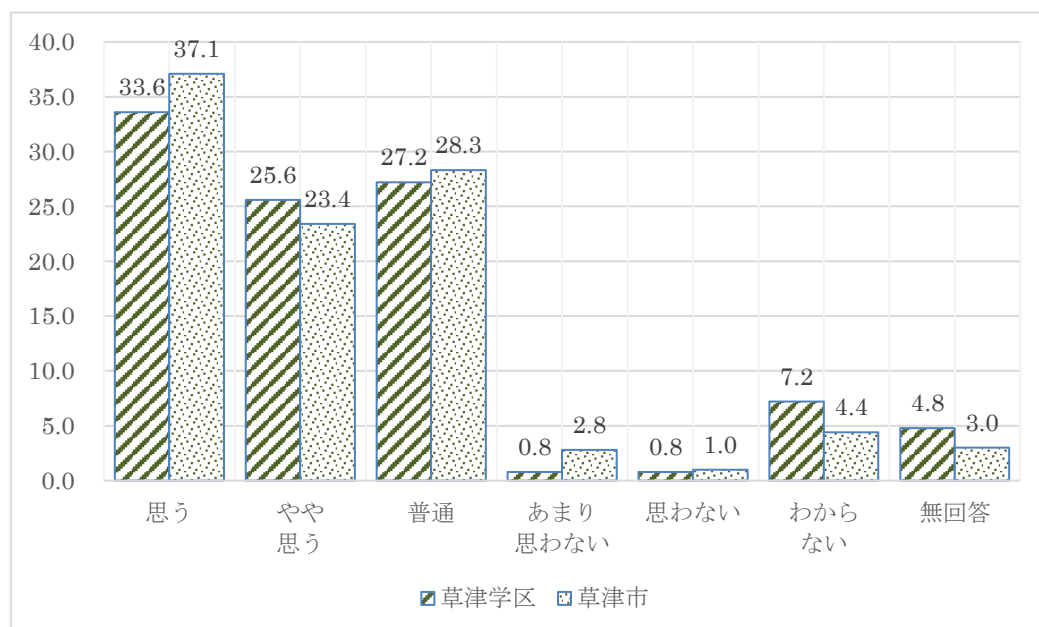
(3) 住民の安心安全

平成30年度「草津市のまちづくりについての市民意識調査」より
 ○自助・共助による防災対策の充実

満足度：現在の状態で満足していますか？

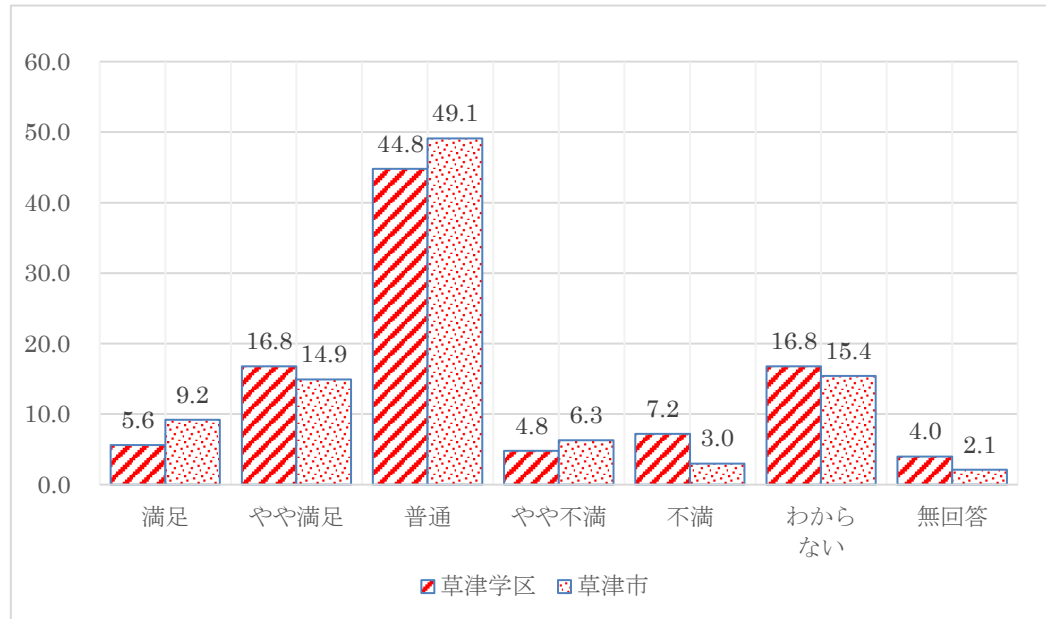


重要度：重点的に取り組むべきであると思いますか？

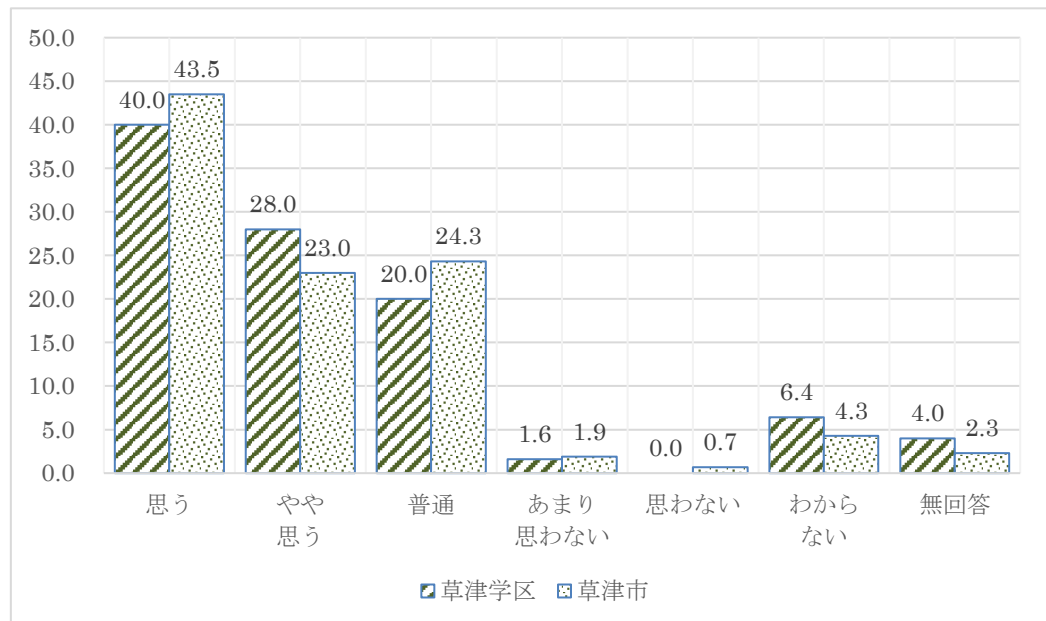


○災害に強いまちづくり

満足度：現在の状態で満足していますか？

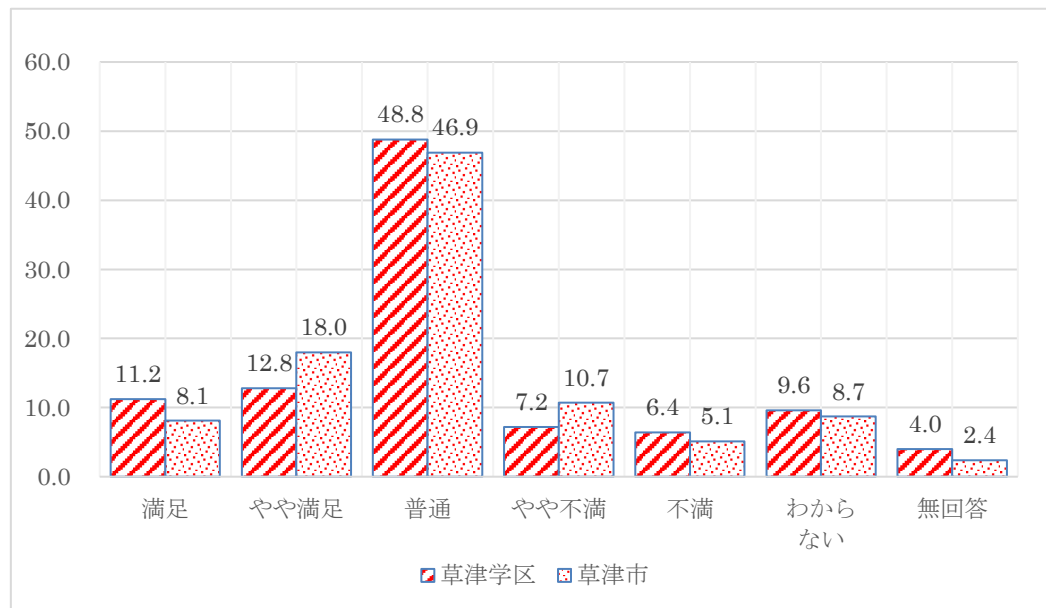


重要度：重点的に取り組むべきであると思いますか？

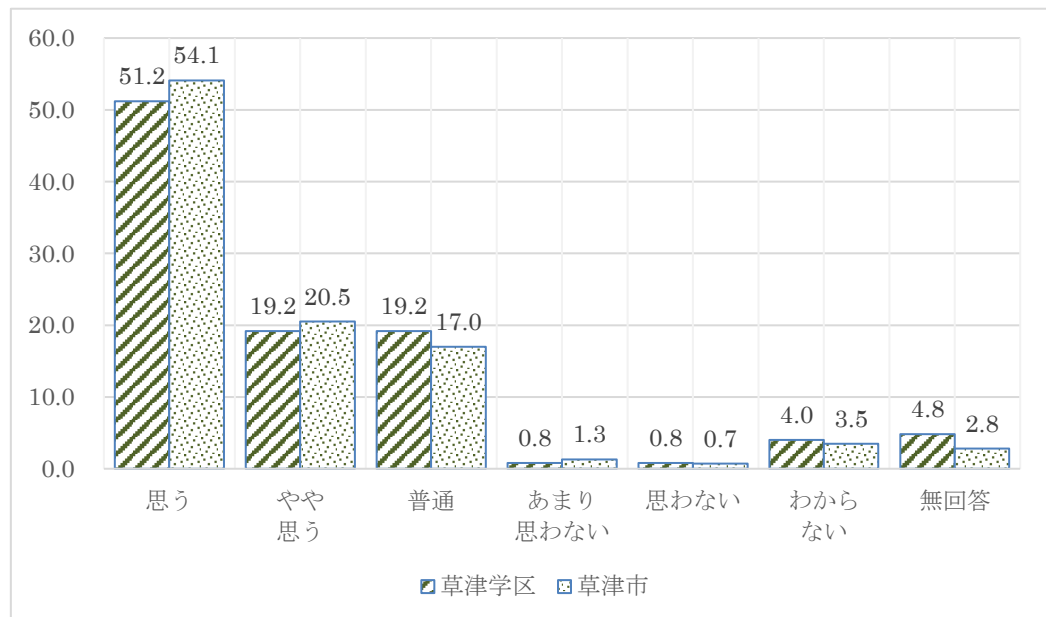


○犯罪のないまちづくり

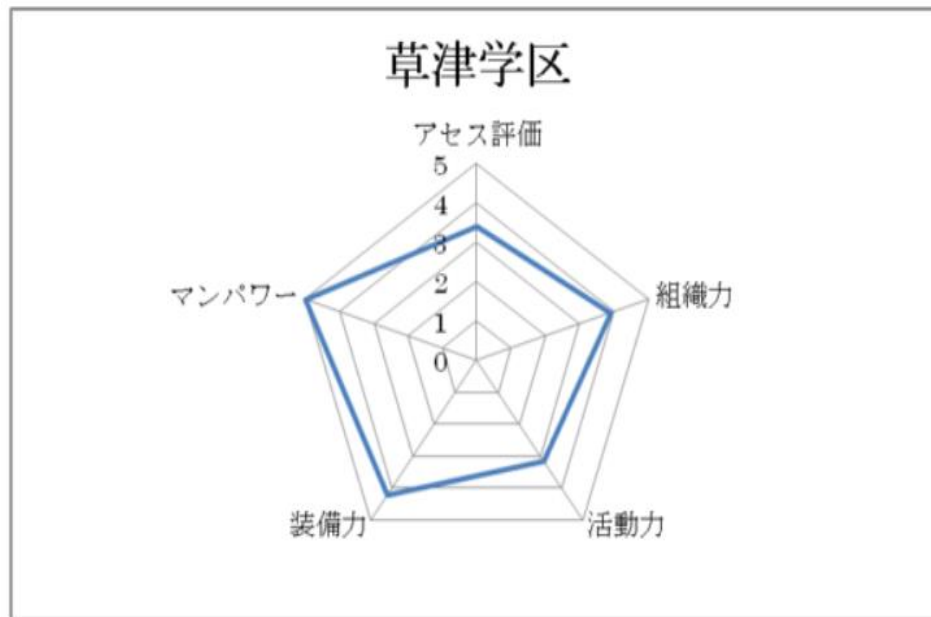
満足度：現在の状態で満足していますか？



重要度：重点的に取り組むべきであると思いますか？



平成25年度ご近所力見える化調査



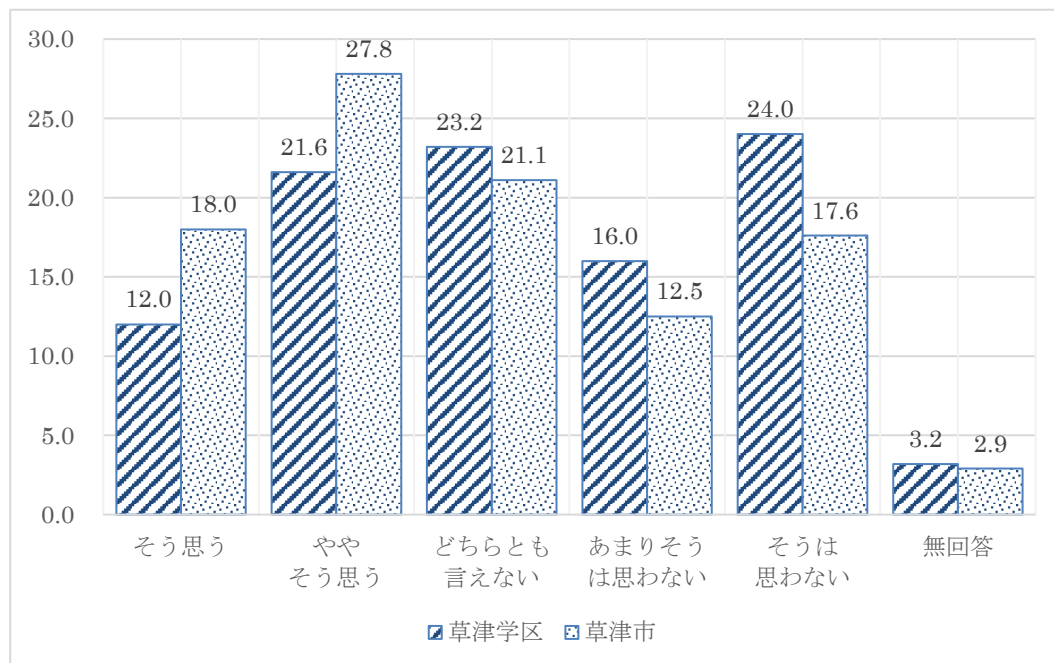
草津学区は地震時、延焼率が最も高位で高齢化率20%以上。アセス評価は低評価であり、延焼火災、倒壊救助対処への危惧がある。ただし、消防団員、市民防災員多数でマンパワーを有し、活動力向上が課題である。

参考：平成25年度ご近所力見える化調査（危機管理課）

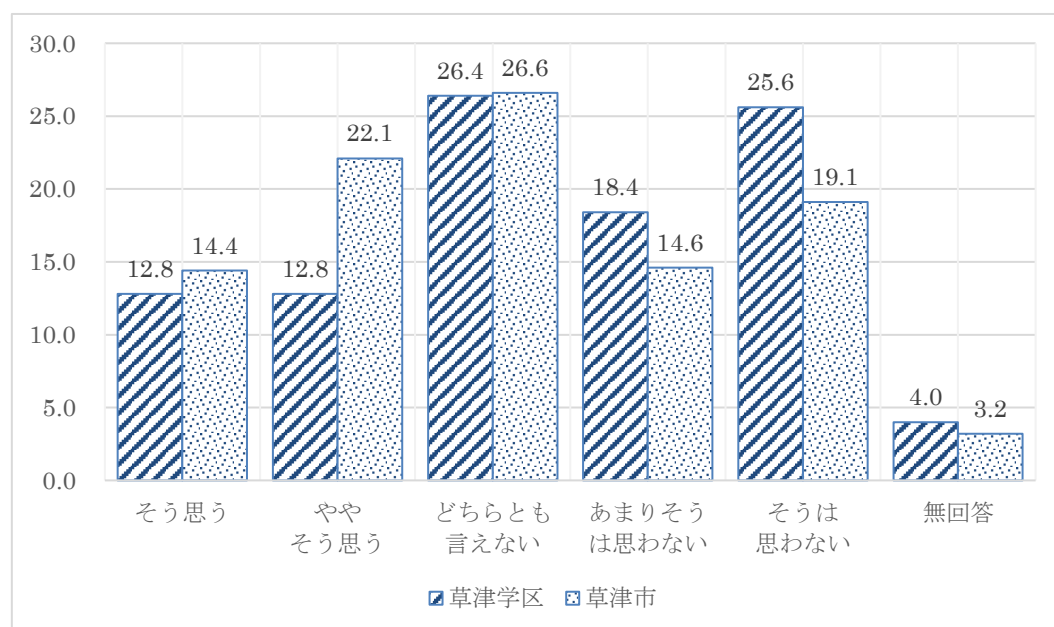
（４）住民の暮らしのイメージ

平成30年度「草津市のまちづくりについての市民意識調査」より

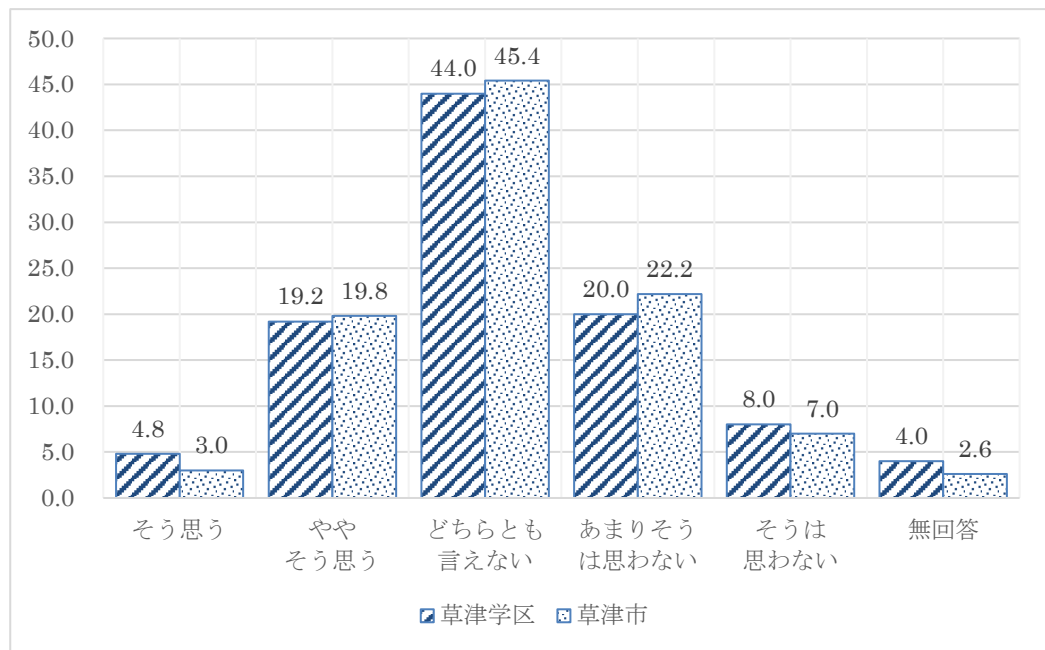
○町内会の活動に参加している



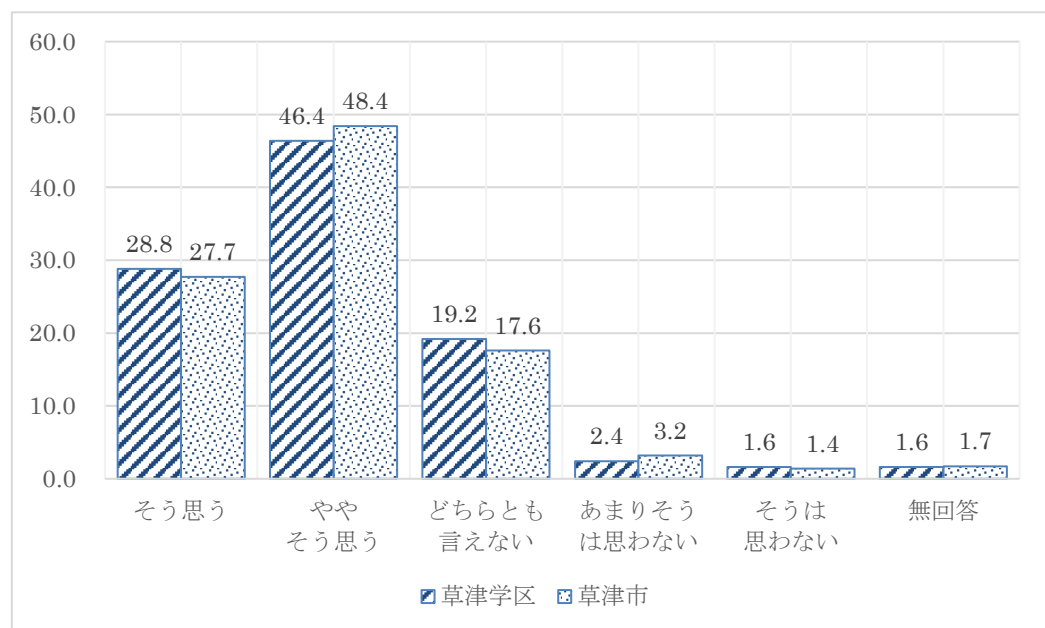
○地域の組織やグループに加入している



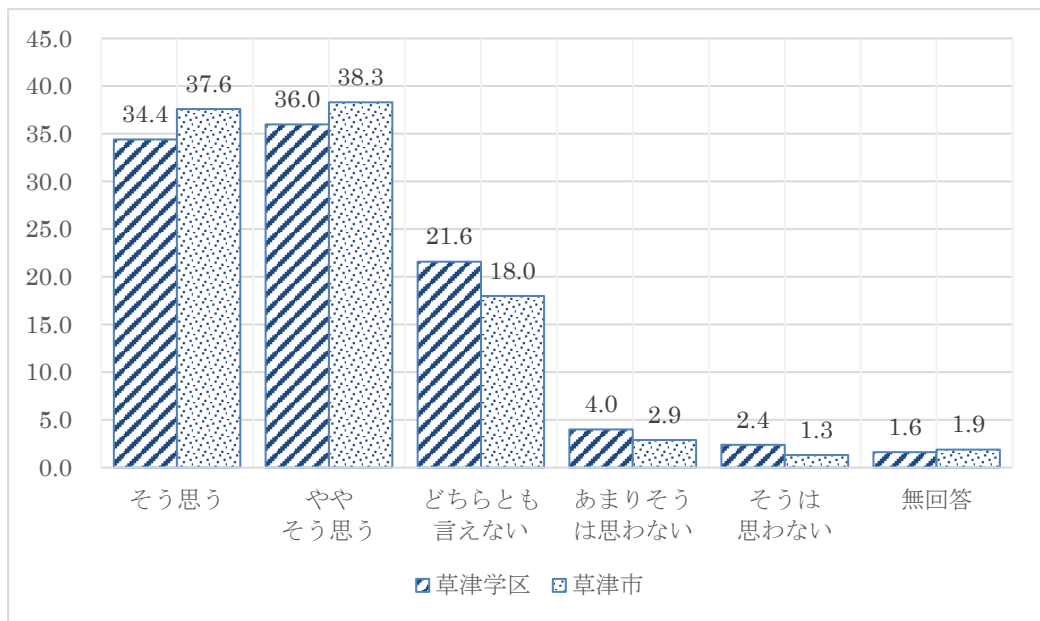
○地域のまちづくり情報が手に入れやすい



○総合的に住みやすいまちである



○これからも住み続けたい



草津学区まちづくり計画（令和２年度～令和６年度）
草津学区ひと・まちいきいき協議会
〒525-0034 滋賀県草津市草津一丁目４番３３号
電話：077-564-4999 FAX：077-564-4922

